

2013 **10.29** (火)

19時開演 (18時30分開場)

浜離宮朝日ホール

全席指定 4,500円 (税込) 学生券 2,500円 (税込)

古きから新しきまで イタリアの
いと美しき 鍵盤作品

フランチェスコ・
リベッタ
ピアノ・リサイタル

- | | |
|--------------------------------|--|
| レーオ
Leo (1694-1744) | 喜歌劇「愛は苦しみを望む」より
「からかいの歌」 (リベッタ編曲)
Canzone a dispetto da "amor vuol sofferenza" |
| ロッシ
Rossi (1601c.-1656) | トッカータ 第7番
Toccata VII |
| マルティーニ
Martini (1706-1784) | ガヴォット へ長調 (ソナタ第12番より)
Gavotta in Fa |
| トゥリーニ
Turrini (1745-1829) | プレスト ト短調 (ソナタ第4番より)
Presto in sol |
| パラディシ
Paradisi (1707-1791) | トッカータ イ長調 (ソナタ第6番より)
Toccata in La |
| クレメンティ
Clementi (1752-1832) | ソナタ ニ長調 作品26-3
Sonata in Re Op.26 No.3 |
| ブゾーニ
Busoni (1866-1924) | ソナチネ第6番「カルメン幻想曲」
Kammer-Fantasie über "Carmen" |
| レスピーギ
Respighi (1879-1936) | 3つの前奏曲 (グレゴリオ聖歌による)
Tre Preludi sopra melodie gregoriane |
| ダヴァロス
d'Avalos (1930-) | アルバムの一葉
Albumblatt |
| カゼルラ
Casella (1883-1947) | トッカータ 作品6
Toccata Op.6 |
| バッティアート
Battiato (1945-) | 守ってあげたい (リベッタ編曲)
La Cura |



フランチェスコ・リベッタ (Francesco Libetta)

2013 **10.31** (木)

19時開演 (18時30分開場)

浜離宮朝日ホール

全席指定 5,000円 (税込) 学生券 3,000円 (税込)

イタリアの名手二人で 聴く「第九」
編曲成すは フランツ・リスト

リベッタ &
マルテンポ
2台ピアノコンサート

- | | |
|----------------------------------|--|
| リスト
Liszt (1811-1886) | 交響詩「前奏曲」
Symphonic Poem "Les Preludes" |
| ベートーヴェン
Beethoven (1770-1827) | 交響曲第9番 ニ短調
作品125「合唱付」
Symphony No.9 in D minor Op.125 "Choral" |

いずれもリストによる 2台ピアノ用編曲
Both are transcribed for two pianos by Liszt
(ソリスト・合唱団による歌唱はありません)

フランチェスコ・リベッタ (Francesco Libetta)



ヴィンチェンツォ・マルテンポ (Vincenzo Maltempo)

2013 **11.2** (土)

18時開演 (17時30分開場)

横浜みなとみらいホール (小ホール)

全席指定 4,000円 (税込) 学生券 2,000円 (税込)

アルカンの 傑作「作品39」
約束された 稀有な体験

ヴィンチェンツォ・
マルテンポ
ピアノ・リサイタル

- | | |
|---------------------------|--|
| アルカン
Alkan (1813-1888) | すべての短調による
12のエチュード 作品39(全曲)
12 Études dans tous les tons mineurs Op.39 |
|---------------------------|--|

全曲演奏に2時間以上を要する大作です。そのため
開演時間が早まっておりますのでご注意ください。



ヴィンチェンツォ・マルテンポ (Vincenzo Maltempo)

チケット好評発売中

カンフェティ

<http://www.confetti-web.com/>

<http://cnfti.com> (携帯用)

☎ 0120-240-540

(平日 10～18時)

・学生券をお求めの方は当日学生証をご提示ください。



イープラス

<http://eplus.jp/>

JK arts (ジェイケイ アーツ)

主催 / チケット販売
<http://www.jk-arts.net/>



後援:

在日イタリア大使館

イタリア文化会館

ダンテ・アリギエーリ協会

東京支部



協賛:

アリタリアー イタリア航空



いきなりで恐縮ですが、リベッタは「ワーグナーの“サラセンの女”による、想像に基づく (Imaginary) パラフレーズ」というピアノと管弦楽のための作品を作曲し、その初演をマルテンポが7月に行ないます。この“サラセンの女”はワーグナーが台本まで作って作曲しないままの作品ですが、こうした題材に曲を作ろうという発想はどこから来るのでしょうか？ 私はリベッタとは14年の付き合いですが、彼の「底知れぬ深さ」をこの一件で改めて認識し、作曲・指揮まで手がけるこのマルチな音楽家を埋もれさせてはいけなく、そしてその弟分でありアルカンに熱心に取り組むマルテンポにも光を当てねばならない……そう考えて二人の招聘を決めました。二人とも各々のプログラムのユニークさと個性的な演奏により「鍵盤上のスーパーイタリアン」という印象を残してくれるものと確信しています。詳しくはJK arts ウェブサイト (www.jk-arts.net/concert) をご覧ください。

フランチェスコ・リベッタ ピアノ・リサイタル

リベッタはいつもコンセプトが明確なプログラムを組みます。今回は「バロックから現代に至るまでのイタリア音楽史」と称するべき内容で、前半はバロックから古典、後半は近代から現存のシンガーソングライターまでも含んでいます。冒頭に書いたように、どれだけ広範な音楽的な知識を持っているのか見当がつかないリベッタによる「イタリア尽くし」の一夜は、誰も実現し得ない魅力的な一夜になるものと思います。

リベッタ&マルテンポ 2台ピアノコンサート

おそらく世界で「第九」が最も演奏されているのは日本ですが、「第九」のリストによる2台ピアノ版は、存在は知られても、実演で聴く機会は首都圏でも年に一度あるかどうかです。2台版の良さは、二人だけで明確な意思統一を形成して演奏できるところにあり、何度も共演して気心知れているリベッタとマルテンポによる演奏は「2台のピアノで弾いている」以上の効果を上げるに違いありません。年末の「第九シーズン」の前に、一味違った2台ピアノ版はいかがですか？

ヴィンチェンツォ・マルテンポ ピアノ・リサイタル

マルテンポが演奏するアルカンは、今年生誕200周年を迎えるフランスの作曲家。彼の「作品39」は同じ12曲からなるリストの「超絶技巧練習曲集」の2倍以上の演奏時間を要し、ピアノ独奏のための「交響曲」「協奏曲」という野心作が含まれる大作です。全曲が一夜で演奏されるのは首都圏では約30年ぶりとなるので、まさに「稀有な体験」となるはずで、「カッコイイピアノ曲と出会いたい方」「音楽を聴いて元気を得たい方」には特にお勧めします。

Francesco Libetta (フランチェスコ・リベッタ)

1968年生まれ。ヴィットリア・デ・ドンノに音楽の手ほどきを受け、パリでジャック・カステレドに作曲や管弦楽法を学び IRCAM にも在籍。チックリニには「彼の世代では最も才能豊かなピアニスト」と評された。兵役後、ベートーヴェンのソナタ全曲演奏会や、世界初の試みであったゴドフスキー編曲のショパン・エチュード全曲演奏会(通算3回)をミラノとナポリで開催し、高い評価を得た(後者のビデオはコレクターアイテムにもなった)。これまでの共演者としてはリフシツ(ピアノ)、ヘンデル(ヴァイオリン)、フラッチ(ハレエ)などが挙げられ、「マイアミ・ピアノ・フェスティバル」にはここ10年以上連続出演。CD/DVDのリリースは20種近くに及ぶ。日本には1999年と2001年来日。

Vincenzo Maltempo (ヴィンチェンツォ・マルテンポ)

1985年生まれ。サルヴァトーレ・オルランドに師事し、2005年ローマ・サンタチェチーリア音楽院を最高位の成績で卒業。その後リカルド・リサリティに師事し、2009年にイモラ・ピアノアカデミーを卒業。アシケナージ、コチシュ、ソリアーノ、レヴィンなどのマスタークラスに参加。2006年、ヴェニス・フェニーチェ座で開催された、「プレミオ・ヴェネツィア ピアノコンクール」で優勝。2005、07、09年には「マイアミ・ピアノ・フェスティバル」で演奏。CDはGramola社から「Liszt Piano Works」を、Piano Classics社から「Alkan Album」をリリース。さらに4枚録音される予定になっている。今回が初来日。

百読は一聴に如かず。「鍵盤上のスーパーイタリアン」をウェブサイトでご試聴ください。

QRコードで試聴できない場合は、JK arts ウェブサイトにアクセスしてください。

Francesco
Libetta



Vincenzo
Maltempo

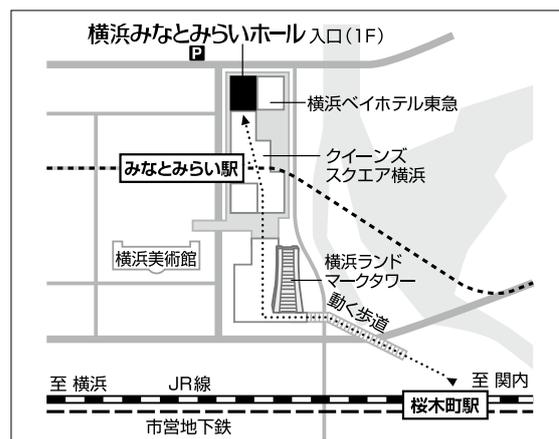


浜離宮朝日ホール：10/29、10/31



朝日新聞東京本社・新館2階
都営大江戸線・築地市場駅下車A2出口3分

横浜みなとみらいホール (小ホール)：11/2



- みなとみらい駅 (東急東横線直通/みなとみらい線) 下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅 (JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄) 下車、動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 (徒歩12分)

もう一つのリベッタ出演コンサート “イタリアからの贈り物” (仮)

ソプラノ福崎芳枝によるオペラアリア (伴奏:リベッタ) と、リベッタのソロをお楽しみいただけます。

2013年11月1日(金) 19時開演 Hakuju Hall お問い合わせ: SALA FORTUNA Tel / Fax: 03-6807-1893



「“未体験音楽”をあなたに」—JK arts 設立のごあいさつ

私は「“未体験音楽”をあなたに」を事業理念として、2013年にJK arts (ジェイケイアーツ) を設立いたしました。アマチュアとして長らくピアノを弾き、多くのCDや演奏会を聴いてきた経験をベースに、音楽愛好家の方々に「稀有でステキな音楽」を提供して参りたいと考えております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

主催・文責 JK arts 代表: 木下 淳 ウェブサイト <http://www.jk-arts.net/> 電話 045-515-3114 (10~21時)